図番一覧表

型 式	Ţ	口 1口	名		図	番
STP-3713KMH	仕	様一	覧	表	YC- 01	237
	外	形寸	法	図	Y3- 36	359
ST-3713KMH (貯湯ユニット)	構	造		図	Y3- 36	360
	電	気 回	路	図	Y4- 36	373
	外	形寸	法	図	Ү3- 30	941
SP-456A (ヒートポンプユニット)	構	造		図	Y3- 31	000
	電	気 回	路	図	Y4- 31	001
リモコン	外	形寸	法	図	Y3- 32	130
SP-DR6	機	能	概	要	Y3- 32	131

家庭用自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯機

[システム]

[システム]								
	項目		仕 様					
型式			STP-3713KMH					
適応電力制度	± .%.1		時間帯別電灯/深夜電力B等					
	支 次1		深夜電力Bでの使用には深夜電力対応キット(別売)が必要					
種別			マイコン型(通電制御型)					
	時間帯別電灯	主電源	単相交流200V					
電源	时间市边电灯	補助電源	不要					
电/冰	深夜電力	主電源	深夜電力 単相交流200V					
	沐 仪电力	補助電源	昼間電力 単相交流100V(深夜電力対応キット(別売)が必要)					
定格周波数			50/60Hz					
最大電流			15A					
冬期高温沸」	上げ温度		85°C					
着霜期高温液	弗上げ温度		85℃					
着霜期高温減 沸き上げ温度	E範囲 ※2		約65°C~85°C					
年間給湯効率	率(JIS) ※3		3.2					
	力量比率 ※3		80%					
区分名(2025	目標年度省エネ基準	隼)	E					
リモコン設置			リモコン付き(台所リモコン:SP-DR6)					
給水方法			逃し弁・減圧弁による水道直結					
最高使用圧力	h		0.19MPa					
沸き上げ温度	F		「省エネ」: 約65℃~75℃、「おまかせ」: 約65℃~85℃					
滞さ上け温度			「多め」:約70℃~85℃、「満タン」:約70℃~85℃					
給湯温度			│ 					
	時刻合わせ		「時/分」					
	湯温設定		「省エネ」、「おまかせ」、「多め」、「満タン」					
沸き上げ	沸き上げモード		深夜のみ・通常					
等操作	表示	残湯量	6段階(表示部4段階)					
	「		24時間(時・分)					
	沸き増し設定		全量沸き上げ(深夜電力Bの場合は沸き増し機能なし)					
	お湯はり温度		_					
	お湯はり量		_					
	追いだき機能		_					
ふろ給湯機能	たし湯機能		_					
	高温さし湯機能		-					
	さし水機能							
	自動運転継続時間	1						
保証期間			2年(熱交換器・コンプレッサ3年、タンク5年)					
日本水道協会	会認証登録番号		A-423					
電気用品適合	合性検査証明書番号		_					
BL認定番号			_					

- ※1 外気温度が-5℃を下回る地域では深夜電力Bではご使用になれません。
- ※2 ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。
- ※3 年間給湯効率(JIS)は、日本工業規格であるJIS C 9220の評価に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。
 - 着霜期高温条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度85℃
 - 冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度69℃(460Lは65℃)
 - 着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度72°C(460Lは67°C)
 - 算出条件:沸き上げ設定「省エネ」、深夜のみ:「通常」、最低貯湯量:「50L」で測定した値であり、実際には地域 条件・各種設定やご利用条件により異なります。

夜間消費電力量比率とは、上記条件下でヒートポンプ給湯機を1日運転した時の総消費電力に対する夜間電力量の比率です。

[2017目標年度省エネ基準について]

	基準エネルギー					
区分名	想定世帯	貯湯容量	仕様	保温機能	貯湯缶数	消費効率
19	標準	320L以上 550L未満	寒冷地 仕様以外	無	一缶	3.2

「2025目標年度省エネ基準について]

	基準エネル									
区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕様	ギー					
E	標準	一缶	320L以上	寒冷地	3.5					

						作成	審査	承 認	仕様一覧表
						井上	木下	木下	工体 見衣
						<u> </u>			
						'23.7.20	'23.7.20	'23.7.20	
						யர்	テック株式	<u></u>	YC-01237
符号	年月日	記事	作成	審査	承認	四多	. ノンン休式:	五江	10-01237

家庭用自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機

「貯湯ユニット]

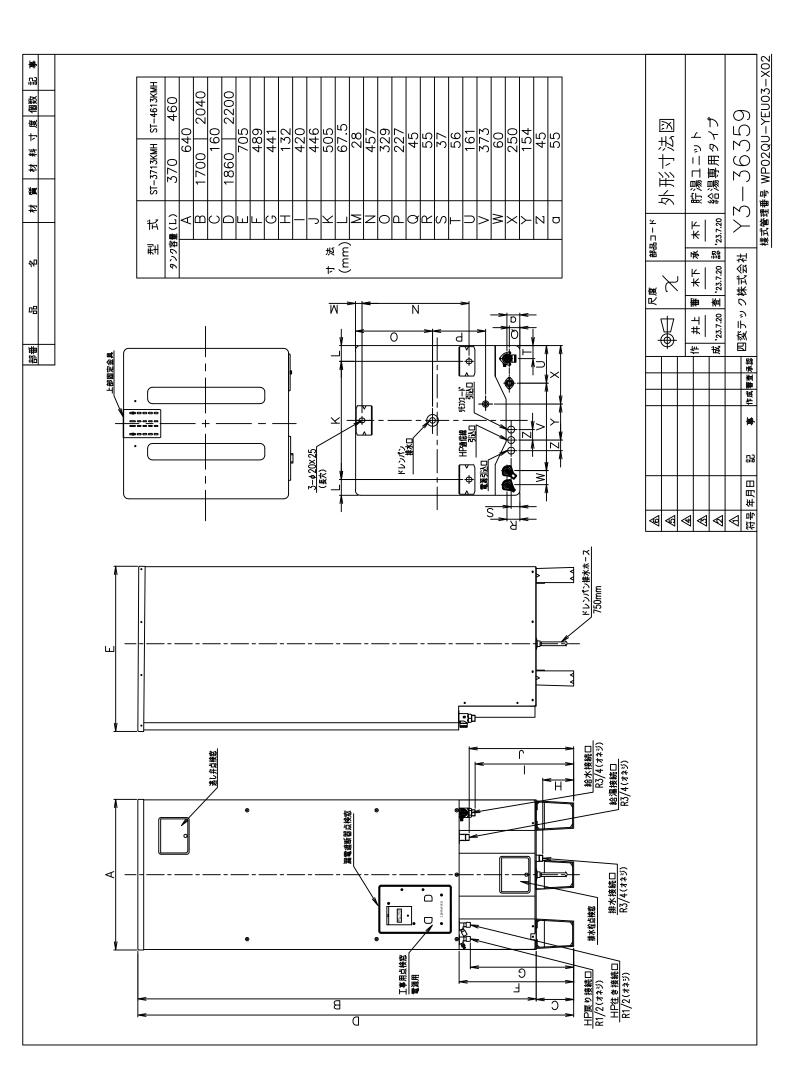
	項目		仕 様				
型式			ST-3713KMH				
タンク容量			370L				
形状			角型配管内蔵タイプ				
設置区分			屋内・屋外兼用タイプ				
ドレンパン			有(750mmドレンホース付)				
消費電力(制	御用)		約5W				
外形寸法(幅	『×奥行き×高さ)		640 × 705 × 1860mm				
質量(製品質	[量/満水時質量)		64kg(434kg)				
水側最高使	用圧力(減圧弁設定	圧力)	190kPa(170kPa)				
	タンク	材質	高耐食ステンレス鋼板				
		階下給湯	不可				
	浴槽設置範囲	上限	_				
		下限	_				
主要部品	保温材		グラスウール				
	アース		アース端子				
	漏電遮断器		200V-30A 感度電流15mA				
	自動温度調節器		サーミスタ式(マイコン自動温度調節)				
残湯センサー			サーミスタ検知				
	給水配管接続口		R 3/4 オネジ (20A)				
配管	給湯配管接続口		R 3/4 オネジ (20A)				
	排水配管接続口		R 3/4 オネジ (20A)				
	ヒートポンプユニット	接続口(A、B)	R 1/2 オネジ(15A)				

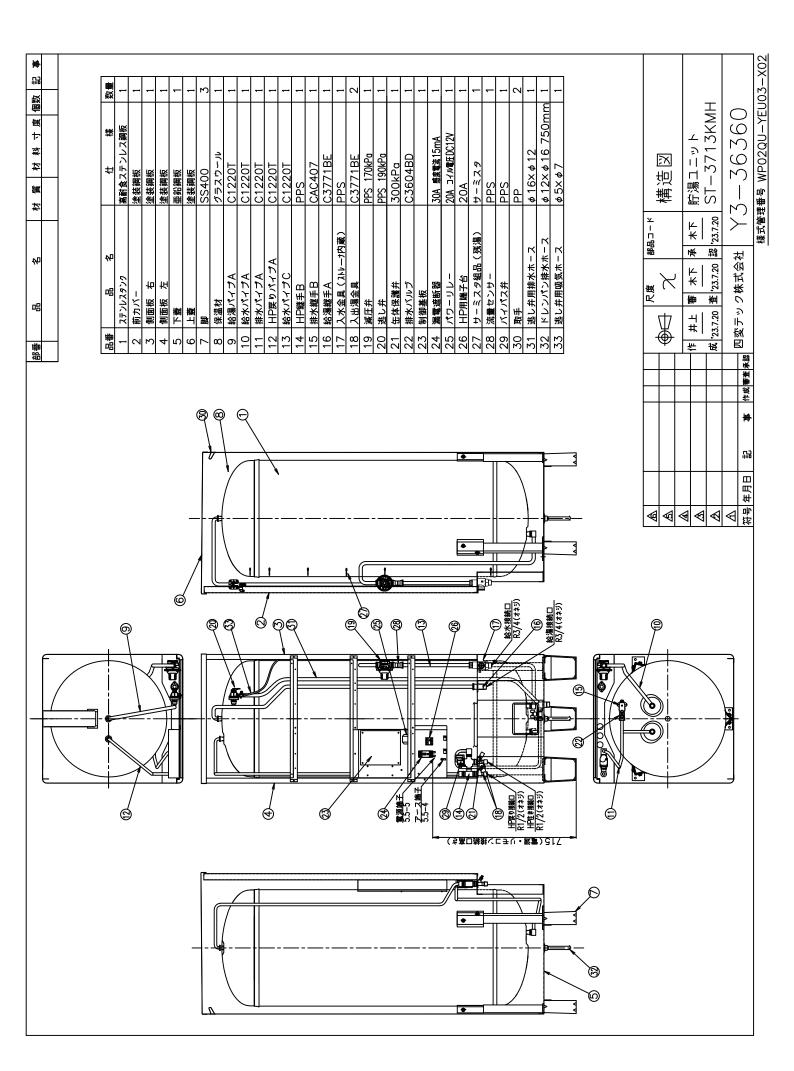
[ヒートポンプユニット]

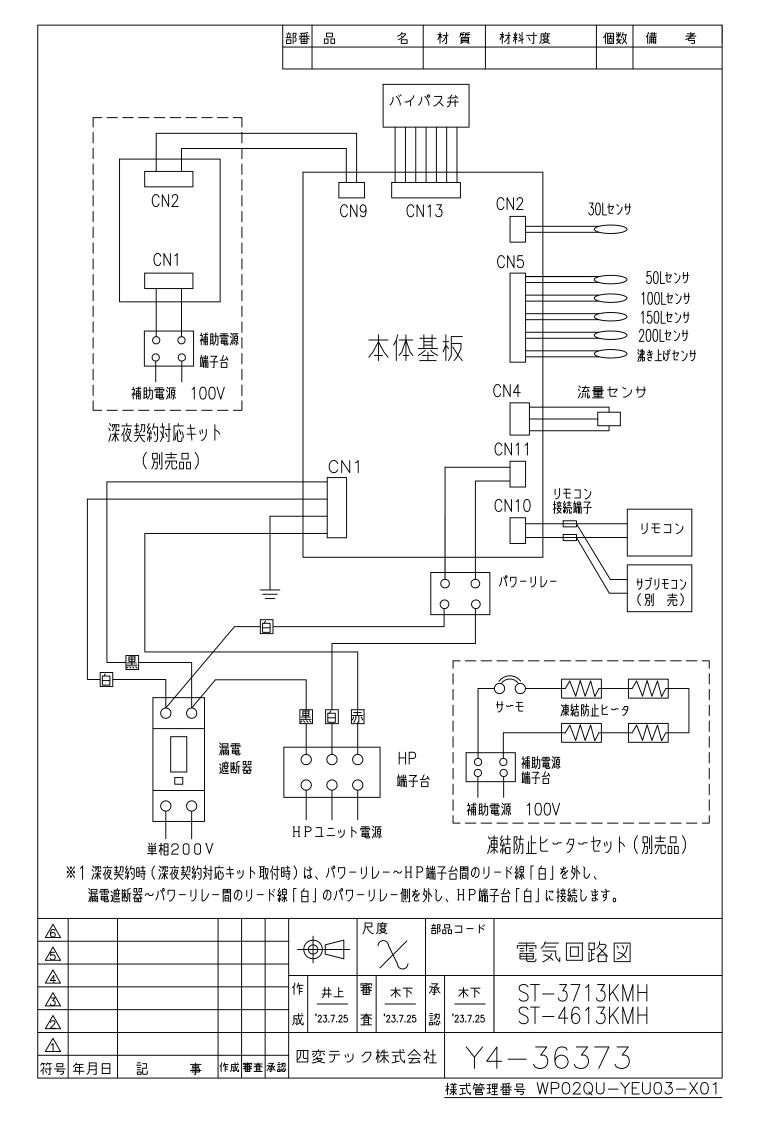
[ヒートホンノコ	ット」						
	項目	仕 様					
型式		SP-456A					
設置区分		屋外タイプ					
ドレンパン		有					
	中間期加熱能力/消費電力 ※2,3	4.5kW/0.970kW					
加熱能力/	夏期加熱能力/消費電力 ※2,4	4.5kW/0.875kW					
消費電力	冬期加熱能力/消費電力 ※2,5	4.5kW / 1.045kW					
	冬期高温加熱能力/消費電力 ※1,2,6	4.5kW / 1.500kW					
運転電流		6.00A					
外形寸法(幅	×奥行き×高さ)	820 × 300 × 650mm					
製品質量		48kg					
配管	接続口A	R 1/2 オネジ(15A)					
HC E	接続口B	R 1/2 オネジ(15A)					
運転音(音響ハ	『ワーレヘ゛ル)(中間期※3/冬期※6)※7	51dB/56dB					
冷媒名 -		CO_2					
7年		(封入量0.675kg)					
設計圧(高圧	/低圧)	14.0MPa / 8.5MPa					
設置可能最低	氐外気温 <u>度</u>	マイナス10℃					

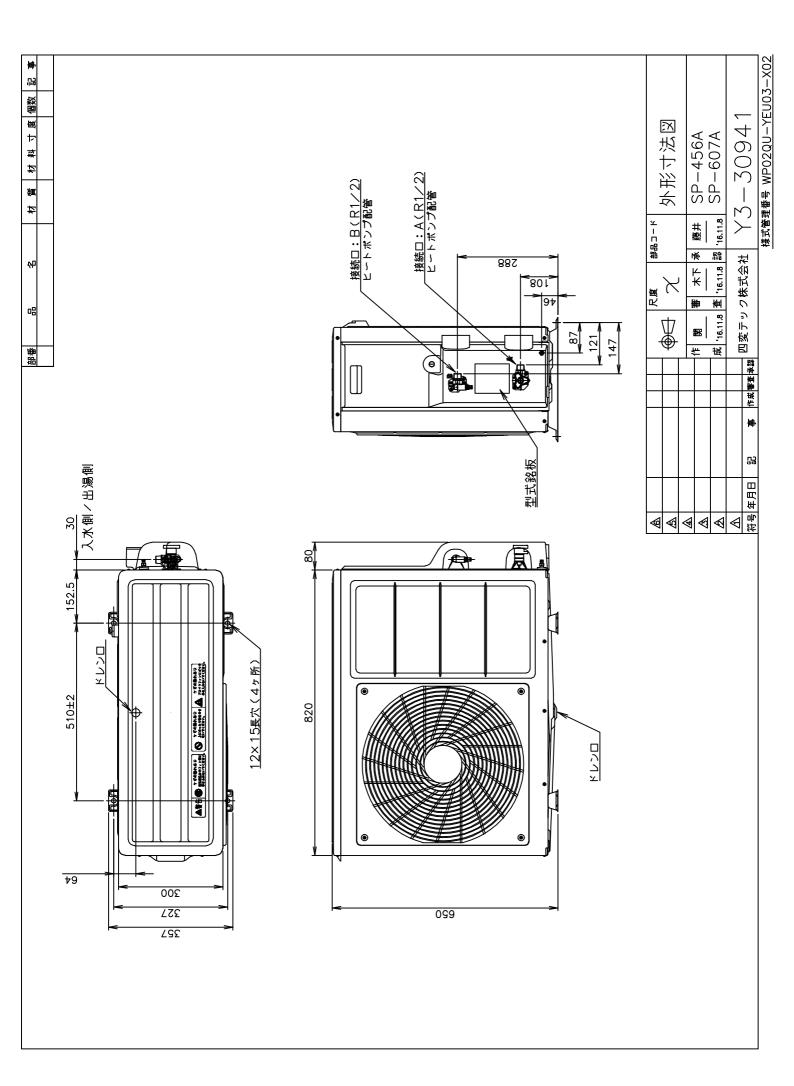
- ※1 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。
- ※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※3 作動条件:外気温(DB/WB°C) 16/12°C、水温 17°C、沸き上げ温度65°C
- ※4 作動条件:外気温(DB/WB°C) 25/21°C、水温 24°C、沸き上げ温度65°C
- ※5 作動条件:外気温(DB/WB°C) 7/4°C、水温 9°C、沸き上げ温度65°C
- ※6 作動条件:外気温(DB/WB°C) 7/6°C、水温 9°C、沸き上げ温度85°C
- ※7 運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲環境により異なります。 2018年のJIS改正で運転音の測定方法が変わりました。従来の「音圧レベル(騒音レベル)」はJIS改正で定めたある1 点で測定したものでしたが、今回採用された「音響パワーレベル」は、周囲に発するすべての音響エネルギーを評価したものです。国際的な評価方法の統一を図るため、表示を開始しました。製品の運転音が大きくなった訳ではありません。詳しくは、一般社団法人日本冷凍空調工業会のホームページをご覧ください。(http://www.jraia.or.jp)

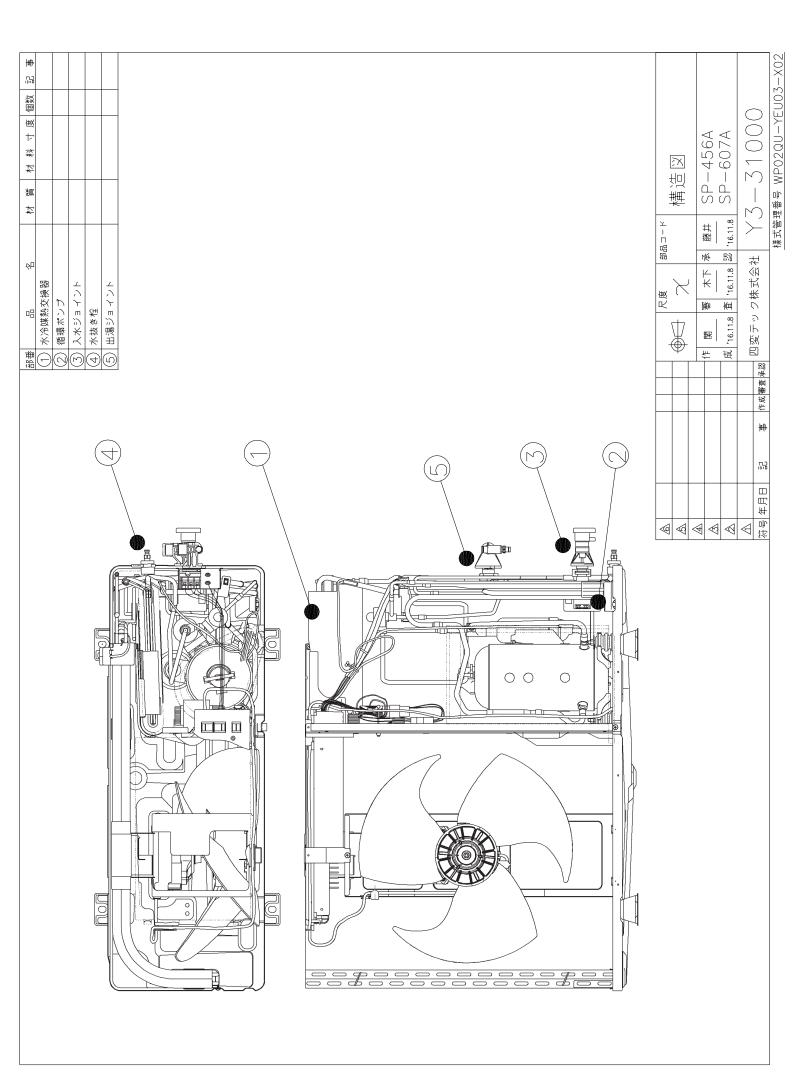
						作 成	審査	承 認	仕様一覧表
						井上	木下	木下	工1水 見投
						'23.7.20	'23.7.20	'23.7.20	
						m ats	ニック性ギ	<u></u>	YC-01237
符号	年月日	記事	作成	審査	承認	四変テック株式会社			10-01237

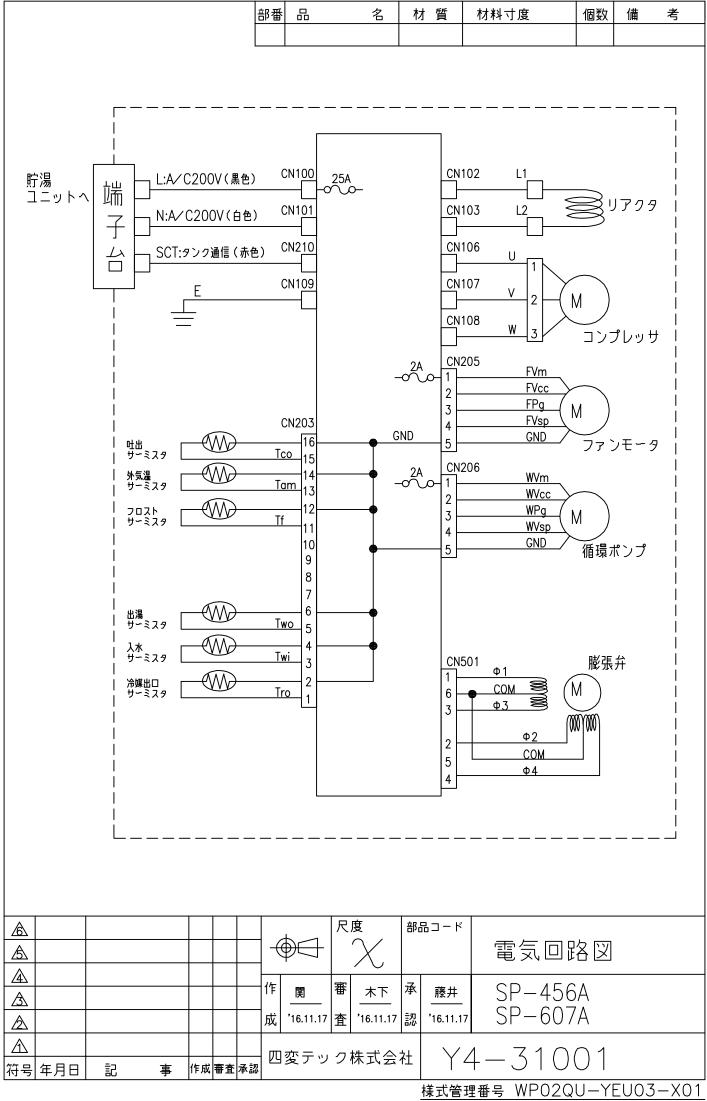


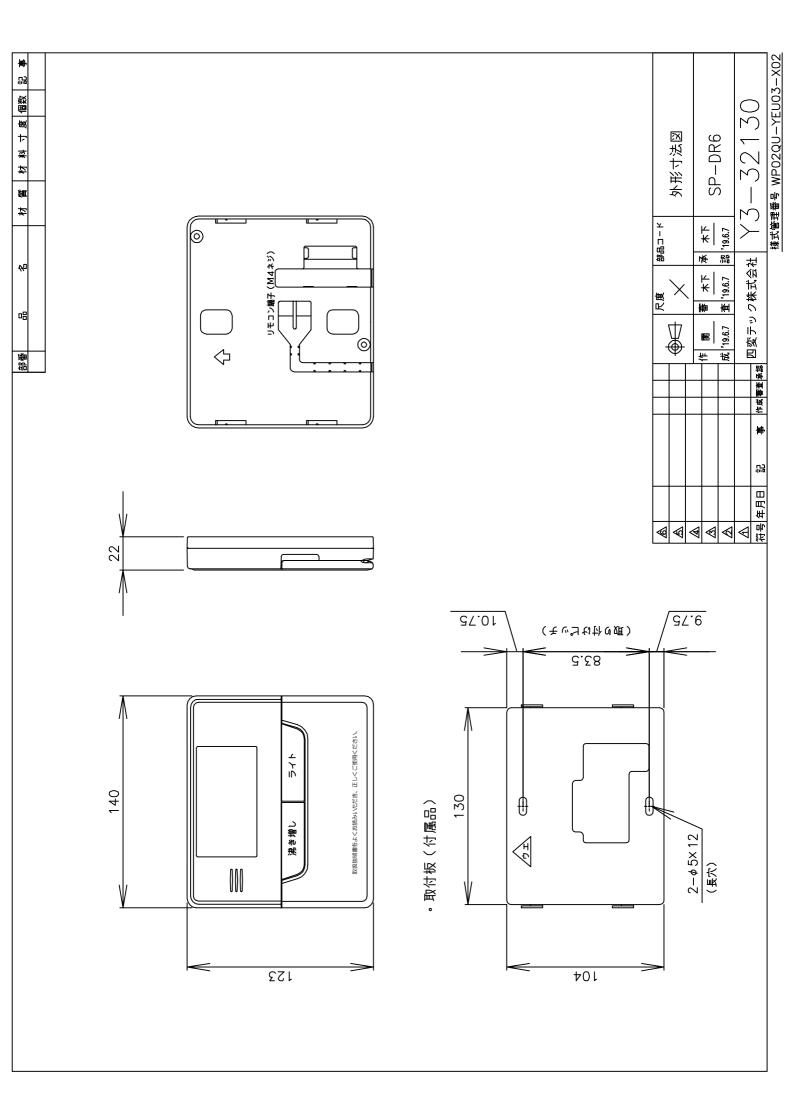


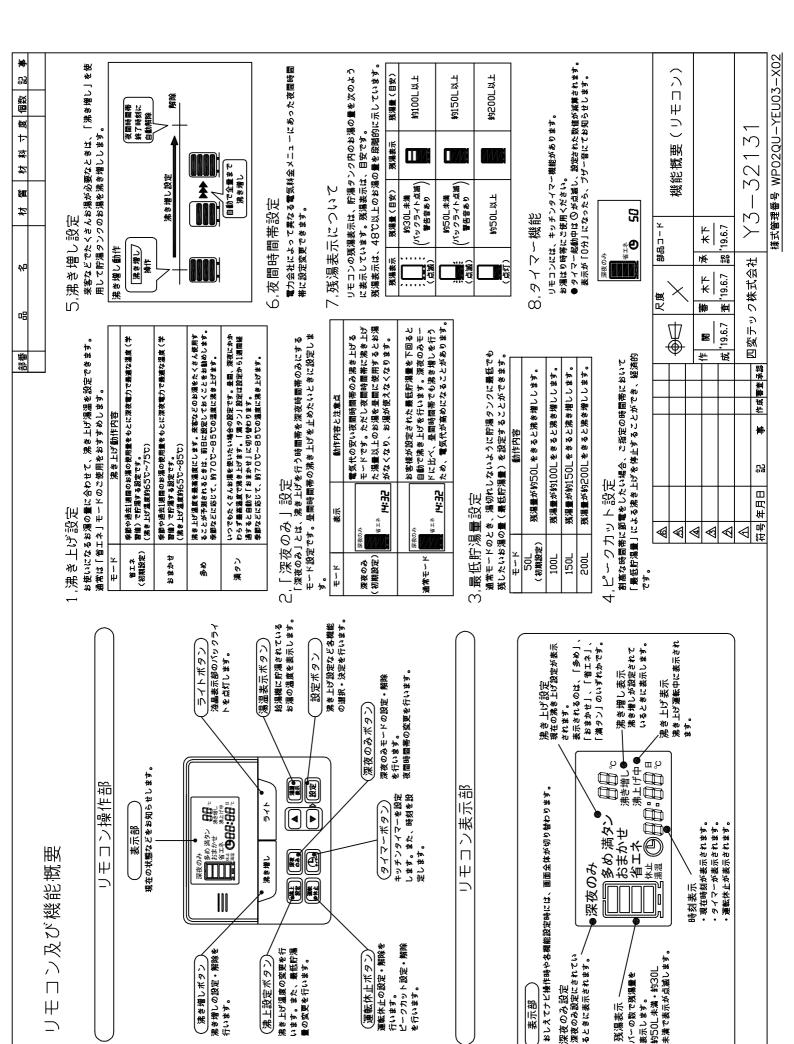












 \mathbb{H}

行います。

表示します。

表示部